



特定非営利活動法人四国グローバルネットワーク 2024 年度 事業報告

Think globally, act locally and change personally!



本部事務所(四国 EPO 愛媛デスク)

〒790-0803 愛媛県松山市東雲町 5-6

TEL : 089-993-6271

FAX : 089-993-6227

E-mail : sakusaku@sgn.or.jp

【SGN】 <https://www.sgn.or.jp/>

【武器アート】 <http://mozambique-art.com/>

【四国 EPO】 <https://4epo.jp/>

【四国 ESD センター】 <https://shikoku.esdcenter.jp/>

【LS 四国】 <https://ls459.net/>

四国 EPO 本部・四国 ESD センター

香川県高松市サンポート 3-33 高松サンポート合同庁舎
南館2階

TEL : 087-816-2232

四国 EPO 徳島デスク

徳島市西新浜町 2 丁目 3-102 エコみらいとくしま内

TEL : 080-4035-4593

四国 EPO 高知デスク

高知市旭町 3 丁目 115 こうち男女共同参画センター3F
環境の杜こうち内

TEL : 080-4998-4592

目 次

2024 年度総括・挨拶	1
--------------	---

I. 国際協力事業

1. モザンビークにおける国際支援活動	3
2. モザンビークに関する国内交流活動	5
3. フェアトレード普及啓発	6

II. 環境保全事業

1. 環境省・四国環境パートナーシップオフィス企画運営等事業	7
2. 環境再生保全機構・地球環境基金助成金説明会の開催	13
3. 環境省・四国地方における地域循環共生圏づくり支援体制構築事業参加団体の審査委員会運営業務	13

III. 教育・ネットワーク事業

1. 四国地方 ESD 活動支援センター事業	14
2. 外務省 NGO 相談員業務	17
3. 多文化共生・減災社会づくりに向けた取組	18
4. 愛媛県・えひめ森林公園 ESD プログラム実施業務	18
5. 東雲 ESD コミュニティファーム活動報告	19
6. 協働オフィス運営と多様な主体との連携による事業展開	20
7. 講師派遣および持続可能な開発のための教育（ESD）普及啓発	21

IV. 管理運営等

1. 組織運営	25
2. 決算報告	26
3. 監査報告	33
4. 広報活動	34

2024年度総括・ご挨拶

会員の皆様、寄付者・関係者の皆様には、日頃より当団体の活動へのご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

2024年度より「えひめ」から「四国」へと改称して取り組んできた活動を、ここで皆様とともに振り返ってみたいと思います。



まず、モザンビーク支援事業は、小規模ではあるものの、シニャンガニーネ村公民館の管理保全と活用、農業活動支援、フェアトレード商品づくりを通して、地域コミュニティによる「自立的運営」のサポートを継続して実施することができました。そして、通算4人目となる「トビタテ留学 JAPAN」の高校生を受け入れ、当団体独自の「モザンビーク ESD/SDGs ツアー」を実施いたしました。併せて、元パラリンピック選手のイラーリオ氏を松山市に招いた中学生主体のNPO「Bridge of Friendship(BoF)」の活動に全面的な協力・支援を行い、各種学校訪問、講演会等を通じて市民の国際理解と国際交流、そして国際協力活動への参加促進に貢献できたと考えます。

そして、このような愛媛とモザンビークのつながりは大阪・関西万博 EXP02025 に向けた「愛媛県×モザンビーク万博国際交流事業」へと展開しています。当団体は、県が主催する事業の一端を担い、愛媛とモザンビークとのつながりを紹介するパネル作成や武器アート展示、料理教室やパネルディスカッション、そして、ユネスコ無形文化遺産の「ティンビラ」演奏のアレンジなどを行いました。この展開の結果、「RTF: Ricky & Timbila Family」という大学生の演奏チームが新たに結成されたほか、モザンビークの JICA 海外協力隊員の方々との交流も始まり、裾野が広がりました。



次に、当団体の「国際」「環境」「教育」の基盤事業となる行政との連携による①外務省 NGO 相談員事業、②環境省四国環境パートナーシップオフィス企画運営事業（③四国 ESD センター運営業務含む）に加え、地球環境基金関連事業、愛媛県えひめ森林公園 ESD プログラム実施事業などの受託事業を継続

して実施することができました。四国各県のスタッフとともに、これまでの経験とネットワークを生かし、それぞれの企画内容や目標設定に応じて展開することができました。これらの事業詳細は、ボリュームが大きいので、ぜひ各報告ページをご参照ください。

いずれの事業も、当団体の特徴である四国地域の「中間支援機能」という強みを活かしつつ、国・県・市町村など各レベルの行政・自治体と教育委員会や企業、そして関連機関等との連携を深めつつ、市民・NPO/NGO との協働を推進する取り組みとなっています。

特に「ローカル SDGs 四国（LS 四国）」という環境省四国事務所とともに事務局運営を担っている四国のプラットフォームづくりは、四国のさまざまな「つながり」の可視化と促進に大きく貢献していると考えています。

環境省が提唱する『地域循環共生圏』づくりの構想は、第6次環境基本計画において、脱炭素・生物多様性保全の取り組みのみならず、ウェルビーイングも含まれるようになり、分野や年代、セクターを超え、持続可能な四国づくりがさらに発展する可能性を実感しています。



2024年度も、会員・寄付者・関係者の皆様、理事・スタッフ・ボランティアの皆様とともに、日々のつながり・支えがあって諸活動を展開することができました。改めて、皆様に心より深く感謝申し上げます。ありがとうございます！！

当団体は本年10月6日「国際協力の日」に、2005年の法人化から満20年を迎えます。万を期して、今回の総会で代表理事のバトンを現理事・共同代表の常川真由美へと渡し、私自身は、今後も引き続き理事・共同代表に留まって新たな二人三脚体制で取り組みつつ、大学生を理事に迎えるなど、多様化が進む時代に合った柔軟かつ重要な組織強化を図ります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

(特非) 四国グローバルネットワーク
代表理事 竹内 よし子



【ビジョン】

あらゆる人々が、人として平和な日々をおくることができる
持続可能な社会を実現すること

【ミッション】

1. 人として対等な立場で支援を必要とする人々の社会的・経済的自立を
援助するため市民参加による国際協力活動を実践すること。
2. 国際協力活動を促進し、多文化共生社会を実現するため
地球市民教育の普及に取り組むこと。
3. わたしたちのビジョンを追求するため地域・国内・海外の市民や
諸団体とのネットワークを構築すること。

I-1. モザンビークにおける国際支援活動

今年度は、2024年9月から10月の日程でモザンビークへ渡航し、下記の実践を行った。

① トビタテ留学 JAPAN！プログラムサポート 9月4日～17日

菊間太耀氏（愛媛大学附属高校2年）とともに、マプト市内にあるジョシ・ナ・マシエル高校と愛媛大学附属高校とのオンライン交流のサポートや現地の生徒との交流プログラムのサポートを行った。ジョシ・ナ・マシエル高校の生徒との交流では、けん玉や書道を用いて交流を行い、英語でコミュニケーションをとりながら交流を行うことができた。また、聾学級の授業に参加し、ハンドサインでの授業の体験や、ダンスの授業に参加して伝統的なダンスを学んだ。さらに、ベンフィカノヴァ小学校訪問時では、Zoomを用いてSGNとBofのメンバーと歌の交流や意見交換を行った。



オンライン交流の様子



書道による交流の様子



ベンフィカノヴァ小学校での交流

シニャンガニーネ村において、開発が進んでいる地域と水道やガスなどの生活インフラが十分でない農村部の暮らしを比較体験した。生活用水として使用する水を川から公民館に運ぶ体験や、毎日の食事の準備といった農村部における日常生活体験のほか、村に住む人たちが野生のゾウの脅威にさらされる現状への対策案を考えたり、センサーカメラを活用した農地の定点観測など、実際に現地で起きている課題解決をその場で考える機会となった。



水運び体験の様子



センサーカメラの使い方指導



公民館スタッフとの記念写真

② Tiyiselani の農業組合登録支援活動 9月18日～10月2日

Tiyiselani のメンバー及び公民館スタッフにヒアリングを行い、登録に向けた進捗を確認した。登録に必要な事務手続きはほとんど完了しているにもかかわらず、登録費用を支払うことができず、登録できていないことを確認した。リーダーが普段村にいないため、組織での話し合いの機



Tiyiselani メンバーとの集会



公民館スタッフとの話し合い



会がなかったことも原因と考えられる。この状況を踏まえ、公民館スタッフの声かけにより、Tiyiselani メンバーたちの話し合いの機会をつくり、組織として意思決定をしながら組織登録や農地活用を進めていくこととなった。

③ 灌水の仕組みづくり支援

2023 年度に購入したエンジンポンプが、購入後使用されていなかったため、川の水を農業利用する灌水の仕組みづくり支援を行った。今回、公民館スタッフと Tiyiselani のメンバーとともに使用方法の確認や設置場所を選定した。インコマティ川から Tiyiselani の農地まで 200m のホースを敷設するルートを決め、今回は 100m で試験的に実施し、川の水を汲み上げることができた。併せて、今後の農地活用について話し合いを実施し、汲み上げた水が広く行き渡るように傾斜や畝立てを工夫して水路を作りながら農地を広げることとした。

④ 村人との意見交換



エンジンポンプの使い方指導



エンジンポンプの設置場所選定



汲み上げ成功！

公民館スタッフを中心に公民館が建設されてからの 6 年間で起きた村での変化とこれから村の未来に何を望むか意見交換会を実施した。

村人からは、公民館建設後、小学校やクリニックが修繕され今でも環境が清潔に維持できていることをうれしく思っており、今後は小学校やクリニックにも公民館のような塀をつくり、施設利用者の安全を守りたいとの要望があった。また、公民館で仕事をするのができて、現金を手にするので、子どもや孫に勉強道具を買ってあげられるようになり、今後は、カプラナ布製品の販売や、農作物、養鶏などに挑戦して、自分たちの力でも現金収入を得られるようになりたいとの展望を語った。



話し合いの様子



BIG スマイル！

⑤ 青年海外協力隊モザンビーク隊員・一時帰国隊員との意見交換・連携

モザンビークの選挙の影響で派遣中のモザンビーク隊員が、一時帰国することとなり、SGN へ来訪・意見交換を行った。その後、数名の隊員とモザンビークへ戻る前までの期間中、商品開発への参画や学校訪問、愛媛県西予市の NPO 法人どんぐり王国での研修を提案し、複数の隊員が参加した。モザンビークへの再赴任後も、現地とのオンライン会議等を通じた情報交換を継続することとなった。

I-2. モザンビークに関わる国内交流活動

モザンビークとのオンライン交流

シニャングアニネ村 ESD 公民館およびボンディア村小学校に PC 各 1 台を寄贈し、オンライン交流を実施した。

第 10 回モザンビークデー開催、モザンビークのニャルンゴ臨時大使との面談

2024 年 10 月 6 日、日本・モザンビーク市民友好協会との共催による「第 10 回モザンビークデー」を開催し、オンライン参加者を含む 49 名が参加・交流した。前半は、「Bridge of friendship(Bof)」による活動紹介、後半は「トビタテ留学 JAPAN」でモザンビークに渡航した高校生ならびに当団体による報告、東京 2020 パラリンピックモザンビーク代表のイラーリオ氏とのオンライン交流、その後、質疑応答や意見交換が行われた。

また、2024 年 7 月 22 日、ニャルンゴモザンビーク臨時大使ご夫妻が松山に来られ、SGN 理事・会員との面談を行ったほか、Bof が取組み発表を行い、質疑応答を通じて友好交流を深めた。



モザンビークデーチラシ



武器アート展示

2024 年 6 月～2025 年 3 月の期間で立命館大学国際平和ミュージアムの武器アート展が開催され、6 点の武器アートを貸出した。

また、毎年 7 月に松山市総合コミュニティセンターで開催される松山市平和資料展において、23～29 日の期間、武器アートや関連資料を展示した。

その他、愛媛県の EXP0 事業関連行事として、武器アート展示を新居浜市ワクリエ(2025 年 1 月 18～31 日)、伊予市 IY0 夢みらい館(1 月 19～31 日)、松山市コムズ 5F(1 月 25～28 日)、宇和島市宇和島ホワイエ(2 月 13～21 日)、松山市役所 1F ロビー(2 月 17～21 日)の期間で展示を行い、広く市民向けの PR をすることができた。



Bridge of friendship(Bof)活動支援

Bof は、「モザンビークを豊かにすること」を目的とし、2022 年 3 月に新玉小学校の卒業生 7 人で発足した NGO で、今年度、新規メンバーを迎え活動を実施した。SGN は、外務省 NGO 相談員として助成金獲得に向けた助言や情報提供などを行いつつ、ユース中心の主体的な活動の継続・展開に向けて側面支援を行った。

また、愛媛大学附属高校や松山北高校のモザンビーク班との交流も含め、相互理解、ネットワーク構築ができるようサポートし、国際協力活動への関心を高めつつユース世代の人材育成に努めた。

中でも 12 月 1 日に愛媛大学で開催された SDGs クリスマスマーケットには、古謝先生やプロのティンビラ奏者マチュメ氏が参加、ティンビラ演奏とともに大いに会場を盛り上げた。



SDGs クリスマスマーケットチラシ



愛媛・モザンビーク万博国際交流事業

愛媛・モザンビーク～サステナブルな未来に向けて～と題し、1 月 26 日に交流事業が開催された。パネルディスカッションでの発表や民族楽器ティンビラの演奏+アクティビティー、食体験・料理教室の企画・実施支援を行った。民族楽器ティンビラの演奏では、愛媛大学軽音楽部の協力で実施され、ティンビラ演奏グループ RTF (リッキー&ティンビラファミリー) が結成された。

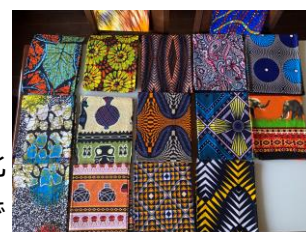
当日の様子は、愛媛県内のニュース番組や新聞等で広く報道され、2025 年大阪・関西万博の PR をすることができた。



I-3. フェアトレード普及啓発

一村一品(成田空港)での常設販売を行ったほか、愛媛県内の高校の文化祭でフェアトレードの普及啓発、商品販売を行った。一村一品マーケットでは、クルミボタンやバティックなどの購入があった。

また、今年度は、モザンビークで購入したカプラナ布を使ったはっぴやスカーフ、魚(教材)、モザンビークの風景を題材としたクリアファイルやポストカードが、ユースとのコラボにより誕生した。今後も PR・販売につなげたい。



II-1. 環境省・四国環境パートナーシップオフィス企画運営等事業

本事業は、環境省が設置した四国環境パートナーシップオフィス（四国 EP0）の受託事業である。持続可能な社会を構築する上で、さまざまな主体による環境保全活動や環境教育、協働取組の重要性を軸に、下記の事業を実施した。

(1) 基本業務

ア Web サイト等を活用した情報発信、PR

四国 EP0 のホームページやメールマガジン、SNS（Facebook, Instagram, Twitter）を活用し、四国内外のイベントや主催行事の開催内容を発信した。またスタッフがおすすめしたい事例や取組を四国のおすすめとして取材、多言語に翻訳し、HP で発信した。



イベントや助成金などの情報、月イチおすすめ本などを掲載！
「四国のおすすめ」（特徴のある活動紹介記事）は、英語、中国語でも発信中！



Instagram・Facebookでの発信
季刊誌「しこくえぼ」（年4回発行）

イ 相談対応、対話の場づくり Web サイト等を活用した情報発信、PR



大学での講義やイベントでの展示・説明
左から（香川県）（愛媛県）（高知県）

第10回かがわ環境活動団体
交流会
（香川県高松市）

審議会や協議会等の委員協力、企業からの研修依頼、大学等での講義など、さまざまな主体に協働や SDG について発信する機会となった。

(2) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

ア 地域プラットフォームの環境整備支援等業務

2024 年度支援先として 3 事業が採択され、伴走支援を行った。

①採択となった対象事業

1) 徳島 (特非) とくしまコウノトリ基金

(一社) とくしま CSA 風土

2) 愛媛 久万高原町

愛媛大学/林業商社天空の森

3) 高知 四国海と生き物研究室

(特非) 大月地域資源活用協議会

*上段：中間支援主体/次段：活動主体



②助言回数、方法、支援内容等

・スタッフ 2 名(主副担当) 体制で四国事務所と共に支援事務局を担った。

・中間支援主体ヒアリング(4-5 月)

・現地視察等

徳島(5/13、8/18、9/28)

愛媛(6/12、7/28、8/7)

高知(12/23、3/2)

・ステークホルダーミーティング

徳島(9/28)、愛媛(7/28・8/7WS)、高知(3/2)

・定例会(月 1 回、5-3 月)必要に応じた打合せ



③キックオフミーティング

日 時:6 月 25 日

場 所:高松サポート合同庁舎 (香川県高松市)、

Zoom による WEB 会議

出席者:24 名

内 容:活動計画の発表と意見交換を行った。会議終了後も団体
同士の意見交換が続き、相互理解を深める機会となった。



④中間共有会

日 時:11 月 28 日

場 所:徳島県立高丸山千年の森ふれあい館 (徳島県上勝町)、

Zoom による WEB 会議

出席者:18 名

内 容:活動の進捗報告・共有、アドバイザーを交えた意見交換
を行い、地域課題解決には時間を要することや、ビジョ
ンを共有する重要性などが共有された。



⑤卒業団体のフォローアップ (かみかつ茅葺き学校)

日 時:11 月 12 日

内 容:ヒアリングを行い現状把握、今後の方向性を確認した。



イ 地域循環共生圏構築に向けた身近な自然資本の活用に関する意見交換会の開催

地域循環共生圏づくりには、森・里・川・海のつながりがもたらす豊かな自然資源、地域のステークホルダーをつなぐことが重要である。そこで身近な自然を活用した地域づくりに関する意見交換会を開催し、パートナーシップを促進することを目的に2つのイベントを開催した。

■身近な自然資本活用に関する意見交換会@今治

身近な自然を観る×守る×活かす⇒持続可能な地域づくり

日 時:10月15日

場 所:今治市クリーンセンター、織田ヶ浜海岸(愛媛県今治市)

出席者:43名

内 容:自然共生サイトに認定された今治市織田ヶ浜の保全活動等の発表、自然共生サイトに関する情報提供、意見交換を行った。



■第4回自治体デジ博～環境～

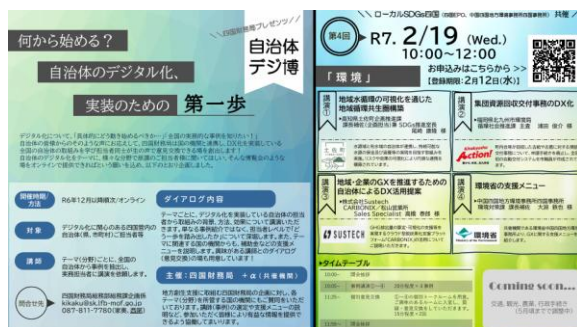
日 時:2月19日

場 所:MicrosoftTeams によるWEB 会議

共 催:四国 EP0、四国財務局、環境省四国事務所、LS 四国

出席者:17名

内 容:環境価値の可視化をテーマに土佐町、北九州市、(株)Sustech からの取組紹介、環境省四国事務所から補助金紹介があった。自治体と関係者がつながる機会となった。

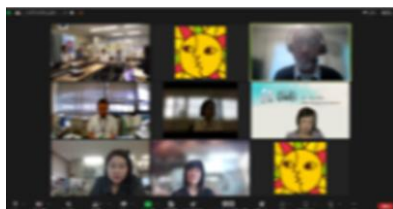


(3) 地域からのグリーン社会の実現に向けたステークホルダー連携促進事業

2021年2月17日に設立したローカルSDGs 四国（LS 四国）（事務局：中国四国地方環境事務所・四国EP0）の運営を行った。今年度は分科会や協力機関と連携したイベントを開催した。

ア LS 四国の企画・運営委員会及び総会

LS 四国規約に基づき、企画運営委員会（2回）、総会を開催した。



「企画・運営委員会」開催（香川県高松市・オンライン）



「LS 四国令和6年度総会」開催（香川県高松市・オンライン）

イ 情報交換会、ワークショップ等

■LS 四国・分科会ワークショップ「多文化共生減災社会づくりワークショップ」

日 時:3月2日

場 所:丸亀市生涯学習センター(香川県丸亀市)

共 催:JICA 四国センター、(特非)四国グローバルネットワーク、
LS 四国

協 力:丸亀市国際交流協会

参加者:約 40 名

内 容:LS 四国分科会、多文化共生減災社会づくり研修の一環で実施。中高生ユースと丸亀在住外国人で多文化共生と減災体験とワークショップを実施した。



■情報交換会「ローカルSDGs 四国ネットワーキング会-成長のカギは2つのC-」

日 時:3月2日

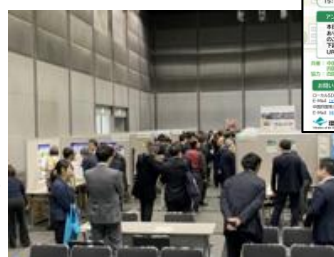
場 所:サンポート展示場（香川県高松市）

共 催:環境省四国事務所、四国経済連合会

協 力:四国経済産業局

参加者:212名(出展24社77名、参加66社135名)

内 容:東京都から建築物環境報告書制度概要、住友化学からは炭素循環をめぐる挑戦について講演いただいた後、出展者と事業者・自治体等とのネットワーキングタイムを開催し、交流した。



■第4回LS 四国表彰募集

LS 四国のビジョン・行動指針の内容に即し、ローカルSDGs（地域循環共生圏）の考え方に資する優れた事業・取組を表彰し、広く紹介することを目的に募集を行い、審査会を経て、賞を選定した。



第4回LS 四国表彰募集

第4回LS 四国表彰審査会
(香川県高松市・オンライン)

◆ローカルSDGs 四国大賞/地域課題解決部門賞

学生服リユース shop さくらや「みんなであつなぐ！ワクワク循環リレー 地域の資源を活かすセカンドハンドコミュニティプロジェクト」(香川県)

◆チャレンジ部門優秀賞

(特非)はなもりびと「母なる大地の再生「名取」地域循環共生圏プロジェクト～人と自然と土が蘇る！限界集落再生モデルへの挑戦～」(愛媛県)

◆ユース部門優秀賞

国立弓削商船高等専門学校「離島工学に基づく持続可能な地域課題解決プログラム」(愛媛県)

◆審査委員特別賞

徳島県立城西高等学校神山校

「耕作放棄地「まめのくぼ」を学び場にした産官学民連携の取組」(徳島県)

◆審査委員特別賞

社会福祉法人光志福祉会「子ども広場、子ども食堂、子ども教室の取り組み」(香川県)

■表彰式 (香川県高松市)

受賞団体による取組発表、受賞団体同士による質疑応答、LS 四国役員から表彰の授与を行った。



今年の賞状も、高知県立伊野商業高等学校の協力を得て作成した土佐和紙を使って作成！

ウ Web サイト等を活用した情報発信、PR

イベントや助成金情報などのホームページ掲載、メーリングリストを活用した情報発信を行った。2025年3月31日時点：会員数は、団体222団体（+17）、個人5名、協力機関15機関、アドバイザー3名。※2024年3月31日データと比較



↑月平均40件弱のイベントや助成金などの情報を掲載！

■LS四国の原動力・実行役になっている「分科会」は6つあり、地域課題解決に向けて、イベント企画開催等、それぞれが自立して運営されている。

- ・四国 ESD チーム
- ・地域エネルギー分科会
- ・多文化共生型の減災社会づくり分科会
- ・南海トラフ地震 香川液状化対策コンソーシアム
- ・四国の奥山自然再生協議会準備会
- ・『森里川海プロジェクト・LS四国』企業交流会分科会



サイボウズ株式会社が運営する「kintone」を使用し、会員の自発的な発信から、円滑なコミュニケーションや連携の強化、今後分科会による取組の展開につながる場を提供。
(毎月セミナーを開催)

LS四国の概要や取組紹介、会員情報などを掲載したニュースレター（7号、8号）を発行、会員や関係者に送付した。



エ 四国 EP0・ESD センター事務所の引越し

11月に高松市寿町1丁目のビルから高松サポート合同庁舎への引っ越しを行った。

II-2. 環境再生保全機構・地球環境基金助成金説明会の開催

(独行) 環境再生保全機構が実施する「2025 年度地球環境基金助成金説明会」(9 月 28 日開催) の運営を行った。レグザムホール第 2 会議室(香川県高松市)と Zoom を使用したオンライン接続による運営を行い、32 名の参加を得た。

■第 1 部「四国地域の助成先団体の取組活動事例の紹介」

助成を受けたことのある 2 団体「(特非) シクロツーリズムしまなみ(愛媛県)」、「(特非) アーキ・ペラゴ(香川県)」による活動発表があり、特にどの活動に対して助成金を活用したか、また活用によりどのようなメリットがあったか等を紹介した。また、テーマとして設定した「環境×観光」に関して、それぞれどのような活動を行ったかについても話題提供をいただいた。



助成金メニューの説明



意見交換

パネルディスカッションは、四国 EP0 がファシリテーターとなり、取組紹介団体のそれぞれの活動について「環境×観光」の観点で議論を深めた。また参加者からの質問に対して、取組発表団体が回答し、相互にやりとりする機会を設けた。

■第 2 部「地球環境基金助成金要望の募集について」

助成金メニューや書類作成について、またよくある質問と回答について等の説明が行われ、申請内容にかかる理解を深める機会となった。

II-3. 環境省・令和 6 年度四国地方における地域循環共生圏づくり支援体制構築事業参加団体の審査委員会運営業務

令和 7 年度の地域循環共生圏に係る事業の参加団体の採択候補者の選定および採択団体の継続についての審査を行うため環境省四国事務所が開催する「地域循環共生圏づくり支援体制構築事業審査委員会」の運営に関わる業務を実施した。審査会開催の結果、令和 7 年度は 1 事業の継続。1 事業の新規採択が決まり、四国事務所と四国 EP0 が協働で伴走支援することとなった。

- ①応募団体ヒアリング(3/7)
- ②審査委員会(3/17)
- ③ヒアリング・審査委員会議事録作成とりまとめ

Ⅲ-1. 四国地方 ESD 活動支援センター事業

本事業は環境省と文部科学省が協働で設置した四国地方 ESD 活動支援センター（四国 ESD センター）の受託事業である。SDGs の達成に向けた人材育成にもかかる ESD を推進していくことを目標に下記の事業を実施した。

（１）ESD 活動に関する域内情報の収集・発信及び情報提供等

ESD 活動に関する国内外の情報等を収集し、ホームページやメールマガジン、SNS で発信を行った。昨年度に引き続き、月 1 回のラジオでの情報発信等、外部メディアとの連携の機会にも恵まれた。その他、ESD 活動に関するプログラム・資料等を収集し、ESD 活動実践者等の求めに応じて提供を行った。



2025.04.16 お知らせ・募集 アワード・表彰
全国学校・庭園ビオトープコンクール2025の募集開始
【締切】2025年5月31日（土）
その他詳細は、リンク先のHPをご確認ください。



2025.04.16 助成金
学校の防災・減災を支援！「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム」助成校募集開始
日本ユネスコ協会より、学校での防災・減災を支援するプログラムの募集が始まりました。

ホームページにて、イベントや助成金などの情報を発信



ラジオではさまざまなテーマからSDGsについて紹介

（２）域内外の多様な主体の連携促進、交流の機会の提供

■四国 ESD バーチャル大学の開催

ESD を軸に、どこにいても、誰でも共に学び合うことができ、学びの可能性を広げ、ネットワークを維持し且つ豊かなものにする機会として、四国 ESD バーチャル大学を開催した。昨年度に引き続き今年度も「気候変動教育」をキーワードとして実施。オンラインと実践、双方からの学びを提供し、その成果を「ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2024」で発信した。

① SDGs や ESD を知ろう！そしてやってみよう！（地域イベント×気候変動教育）		
2024 年 8 月 3 日（土）10：00～16：00	参加者 70 名	
会場：八幡浜市水産物地方卸売市場		
② 読んでみよう！環境白書（環境白書×気候変動教育）		
2024 年 10 月 21 日（月）13：00～14：30	参加者：76 名（オンライン開催）	
協力：NPO 法人徳島環境カウンセラー協議会		
③ のぞいてみようジオパークの世界（ジオパーク×気候変動教育）		
2024 年 12 月 15 日（日）10：00～11：30	参加者：22 名（オンライン開催）	
協力：室戸ジオパーク推進協議会、（一社）りぐる（いずれも地域 ESD 拠点）		

※ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2024

2024 年 12 月 1 日（日）国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）で開催。

参加者：192 名

(3) ESD 活動に関するネットワークの構築

ア ESD 推進ネットワーク地域フォーラムの開催

新居浜市、新居浜市教育委員会との共催で「四国 ESD フォーラム 2025」を開催。当日は四国内外から 88 名（会場 77 名、オンライン 11 名）の参加があった。フォーラムではオープニングコンサート、新居浜市 SDGs 推進プラットフォーム紹介、新居浜 ESD for SDGs リレートーク、四国のユース ESD/SDGs 事例発表、地域 ESD 拠点による発表等のプログラムを通じて、それぞれのテーマで参加者同士が学びあう機会を作ることができた。



オープニングコンサートの様子



新居浜市 SDGs 推進プラットフォーム紹介



新居浜 ESD for SDGs リレートーク



四国のユース ESD/SDGs 事例発表

イ 地域の ESD 拠点等の ESD 活動の支援

新たに 4 団体が加わり、四国の地域 ESD 拠点は 25 団体に増えた。（番号は登録順、赤字は今年度の新規登録団体）

愛媛県

- ① 新居浜市教育委員会
- ③ IKEUCHI ORGANIC 株式会社
- ⑦ 株式会社平野 平野薬局
- ⑧ NPO 法人四国グローバルネットワーク
- ⑭ 一般社団法人ノヤマカンパニー
- ⑯ NPO 法人どんぐり王国
- ⑰ えひめ森林公園
- ⑱ 株式会社タイチ
- ⑳ 新居浜市生涯学習センター
- ㉓ 愛媛ダイビングセンター

高知県

- ⑤ 株式会社土佐山田ショッピングセンター
- ⑥ 室戸ジオパーク推進協議会
- ⑬ 株式会社相愛
- ⑰ 豊永郷民俗資料館
- ㉒ 一般社団法人りぐる

香川県

- ② 高松ユネスコ協会
- ⑨ うどんまるごと循環プロジェクト
- ⑮ 善通寺こどもエコクラブ

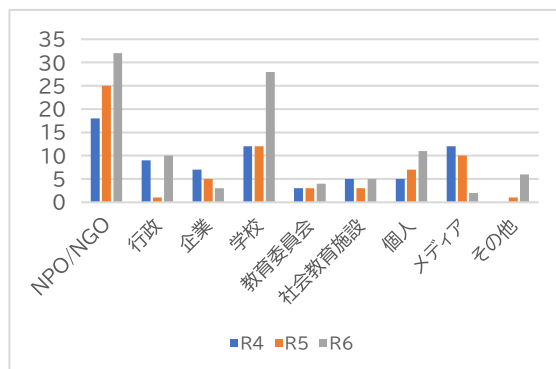
徳島県

- ④ 株式会社ハレルヤ
- ⑩ 一般社団法人そらの郷
- ⑪ パンゲアフィールド
- ⑫ 株式会社井上組
- ⑲ YMCA 阿南国際海洋センター
- ㉔ 有限会社ハイプラ
- ㉕ 徳島県立あすたむらんど



(4) 四国 ESD センターに関する相談・支援窓口

地域のESD活動実践者・実践団体（学校や社会教育施設、NPO/NGO、企業）等から、ESD活動を実践するに当たって相談や支援の要請に対応し、必要に応じて助言や各種会合への出席等を行った。



相談主体の内訳

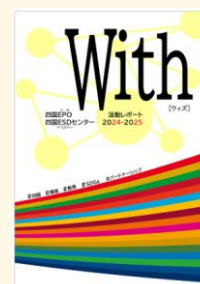
（５）全国センターとの連携協力の推進等

ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会、全国協力団体意見交換会及び企画運営委員会に参加し情報共有を行った。

(6) 四国 ESD センター運営委員会の開催

7月と3月の2回開催し、業務実施計画（案）や事業方針等について協議を行った。

★ESD 拠点カレンダーや広報誌の作成を通じて活動PRを行った。

活動レポート2024-2025
「WITH（ウィズ）」

四国の地域 ESD 拠点カレンダー



ESD 拠点

四国地域ESDネットワーク

四国の登録数 25団体 (徳島 7 高松 3 愛媛 5 香川県 10)

学校現場、社会教育の現場では、さまざまな主体が地域や社会の課題の解決に関する学びや活動に取り組んでいます。そうした活動はESDを推進する重要な資源であり、四国地域ESD活動推進委員会(四国ESD活動推進委員会)は四国ESD拠点として登録しています。四国には現在5団体の四国ESD拠点があり、それぞれの得意分野や活動の方向性や活動の範囲が異なります。

※登録は登録費が / 全国登録費 201 円税別 (2025年1月現在)

登録団体集集中!!

他と同一欄でESDを推進している団体は複数掲載されています。
※掲載順は四国地域ESD活動推進センター(四国ESDセンター)での掲載順をのべています。

1 新居市市民教育委員会



2 高松市ユネスコ協会



3 IKELUCHI ORGANIC(株)



4 高松市カレッジ



5 高松市山田山田センター



6 高松市山田山田センター



7 高松市山田山田センター



8 徳島県立ESD推進センター



9 高松市ユネスコ協会



10 (一社) そらの郷



11 バグフィールド



12 (株) 井上組



13 (株) 紀成



14 (一社) マカバカンパニー



15 高松市ユネスコ協会



16 (特約) とんぼり王宮



17 えみめ森林公園



18 (株) タイチ



19 (公財) 高松市YMCA YMCJA 日本国際海洋センター



20 高松市市民生活学習センター



21 高松市市民生活学習センター



22 (一社) 八木



23 高松市ダイビングセンター



24 高松市ハイパワ



25 高松市立あすむらんど



26 (公財) 高松市ESD推進センター



27 (公財) 高松市ESD推進センター



28 (公財) 高松市ESD推進センター



29 (公財) 高松市ESD推進センター



30 (公財) 高松市ESD推進センター



31 (公財) 高松市ESD推進センター



32 (公財) 高松市ESD推進センター



4 April 2025

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5 May 2025

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

6 June 2025

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7 July 2025

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10			

Ⅲ-2. 外務省 NGO 相談員事業

本事業は、より多くの市民や他セクターが国際協力に関心を持てるよう相談対応することを目的とした外務省委託業務である。全国 10 力所の内「四国ブロック」を担当し、四国にある中小規模・零細規模の NGO が組織強化できるよう情報提供し、四国各県での出張サービス実施、SNS 等を活用した広報・啓発活動を通じて、ODA や NGO への理解・関心を高めることに注力した。

相談対応業務では、より多くの市民や他セクターが国際協力に関心を持ち、ODA・国際協力に関する理解促進を図ることができるよう相談対応を実施した。相談者は NGO 関係者が最も多く全体の 50.7% を占めた。次いで、学生・生徒が 8.2% を占めた。相談内訳は、NGO 団体・NGO の活動についての相談が 27.5% と最も多く、次いで、開発教育・フェアトレード・国際理解についての相談が 20.3% を占めた。

小学生から大学生までの幅広いユース層には、特にわかりやすく国際協力の重要性を伝え、ODA や国際協力イベントの情報などを提供し、SNS 等で発信し続けたことで、興味・関心を引き上げることができたと考える。目標としていた相談対応件数の月平均 75 件を超え、月平均で 86 人を対象に 75 件の相談対応を行うことができた。

出張サービスについては、10 件の実施ができた。しかし、愛媛県 5 回、高知県 2 回、香川県 2 回、徳島県 1 回の実施となり、四国 4 県のバランスが取れなかった点は課題として残ったが、新規開拓先を含む目標の 10 件を達成することができた。また、今回、「四国・国際協力団体と ODA」冊子の更新を行った。このプロセスを通して、四国内の NGO の実態の把握が進むとともに、課題も明らかとなった。できあがった冊子は、協力いただいた NGO 及び四国内の高校等へ送付し、NGO の PR や次年度の活動につなげ、役立てたい。

SNS による告知・広報を行い、リーチ数月平均目標 900 件、年間 10,800 件のところ、月平均約 1,036 件、年間 12,439 件で目標を達成することができた。団体事務所の路面側における掲示場所も活用しつつ、国際協力イベント情報や NGO からの広報を常に行い、広く一般市民に普及・啓発することができた。



冊子「四国・国際協力団体と ODA」



開設中のインスタグラム



出張サービス・相談対応



Ⅲ-3. 多文化共生・減災社会づくりに向けた取組

JICA 四国との連携で 2021～2023 年度にかけて実施した「多文化共生型減災社会づくり実践研修」の成果を活かし、今年度は香川県丸亀市で多文化共生型の減災社会づくりワークショップを実施した（P10 で掲載済）。ワークショップでは、大手前丸亀中等高等学校生徒が中心となって活動する「TSUNAGU」メンバーが中心となり、参加した外国人とやさしい日本語を使用し、減災に役立つ研修・ワークショップを進めた。

その他、下記のイベントで多文化共生減災に関わるテーマの PR を行った。

■防災とボランティアのフェスティバル

日 時：9 月 22 日

場 所：きさいや広場（愛媛県宇和島市）

主 催：（特非）宇和島 NPO センター、四国防災ボランティアネットワーク

訪問者：約 30 名

内 容：LS 四国分科会として活動 PR を含め、多文化共生減災クイズや災害時の電源を考えようをテーマに訪問者へ情報提供を行った。四国内の防災に関わる関係者とのネットワークづくりの参考となる情報を得た。



ゆれマット体験



参加者向けの説明の様子

■Community・Life との連携

中央共同募金「外国人支援ネットワーク構築と支援団体の育成事業」実施に協力し、松山市内における課題把握や課題解決につながる取組みに関する情報交換・意見交換を行った。

Ⅲ-4. 愛媛県・えひめ森林公園 ESD プログラム作成業務

えひめ森林公園 ESD プログラムの教材を活用した児童及び指導者向けのプログラムの実施を通じて、豊富な自然の中で SDGs を学ぶことができる施設としてえひめ森林公園の認知度向上を図るとともに、森林・林業に関する知識の習得、体験等を通じて持続可能な社会づくりに取り組む人材の育成を目的に昨年度に引き続き実施した。

(1) 児童向けプログラム企画・運営

本年度は次のとおり、伊予市の小中学校 2 校がプログラムを実施した。

- ①（6 月 3 日）「森の働きを知ろう！」
＝伊予小学校 2 年生（2 クラス 58 名）
- ②（9 月 13 日）「わたしたちの社会と森林」
森林公園散策・防災食づくり
インタビュー
＝伊予中学校 1 年生（2 クラス 60 名）



(2)指導者向け研修プログラム企画・運営

① 伊予小学校・中学校 ESD カレンダー研修

日 時：5 月 10 日

場 所：伊予小学校会議室（愛媛県伊予市）

参加者：6 名（伊予小学校 5 年・伊予中学校教員他）

講 師：竹下浩子氏（愛媛大学教育学部准教授）

内 容：ESD カレンダーワークショップを実施した。



② 小中学校のプログラム実践における体制づくりについての意見交換

日 時：2 月 18 日

場 所：えひめ森林公園研修室（愛媛県伊予市）

参加者：8 名（えひめ森林公園、えひめ森の案内人会、愛媛県森林整備課）

内 容：これまでのえひめ森林公園 ESD プログラム実践の状況の振り返りやプログラム実践を継続するための意見交換、ESD 拠点としての対応を行った。



III-5. 東雲 ESD コミュニティファーム活動報告

東雲地区のタウンミーティング（2013 年 12 月）における EGN からの提案で東雲公園の一部未利用地を「コミュニティファーム」として活用することが可能となり、2014 年から東雲小学校 2 年生とともに生活科の授業の一環として取り組んでいる「東雲 ESD コミュニティファーム」を 2024 年度も多様な主体と連携しながら実施した。

■芋の苗植え授業

日 時：6 月 4 日

場 所：東雲公園（愛媛県松山市）

出席者：75 名

内 容：えひめ 311 のメンバーが災害に備えた防災ファーム

の意義について説明した後、芋の苗植え、サツマイモ

に関するクイズを行った。子どもたちは、土に触れてサツマイモの栽培に興味を高めた様子で、当日午後、水やりのために、苗を植えた 2 年生、前年体験した 3 年生がやって来るなど、関心が持続している様子であった。



その後、6～11 月の収穫までの間で、東雲小学校児童たちの自主的な水やり、草引きへの参加があった。

■芋掘り

11 月 20 日、サツマイモの収穫を行った。今年度は、沢山のサツマイモを収穫することができ、子どもたちにとっては初めての



お芋ほり体験で、十分楽しんでいる様子が見られた。一部のサツマイモは、子どもたちと相談し、能登半島地震の被災者支援で活用することとした。えひめ 311 の協力を得て、現地の炊き出しボランティアの食材を提供することができた。サツマイモクイズの復習と東雲公園内の植物の学習も行い、大学生や NPO 関係者とともに、地域連携による ESD 実践を進めることができた。



III-6. 協働オフィス運営と中間支援連携

2024 年度は、当団体が運営する協働オフィス（松山市東一万町 2 第 3 森ビル 1F）を、特定非営利活動法人えひめ 311 とともに活用した他、下記の団体（企業含む）との連携による活動を行った。

①SGE 会（えひめ消費者研究会）

「AI と消費者・消費者教育」勉強会(11 月 23 日)



②一般社団法人ファーストラ이프サポートとの連携

遺贈寄付セレクトサービスに関わる業務委託契約を締結し、当団体が、遺贈寄付先として顧客からの指定を受けた場合、対応することとなった。

③株式会社 Sustech との包括連携協定

地球環境課題の解決・改善に向けてそれぞれの資源や機能等の活用を図りながら、相互協力し地域循環共生圏の実現に寄与することを目的に包括連携協定を結び、気候変動教育や CO2 削減の可視化に向けた Carbonix の活用・普及啓発を連携して行った。

プレスリリース NEW

四国グローバルネットワークとSustech、地球環境課題の解決・改善に向けた連携協定を締結

2024年9月20日

特定非営利活動法人四国グローバルネットワーク（本社：愛媛県松山市、代表理事：竹内よし子、以下「SGN」）と株式会社Sustech（本社：東京都港区、代表取締役：丹野裕介、以下「Sustech」）は、地球環境課題の解決・改善に向け、幅広い分野で相互に協力するため、連携協定を締結しましたことをお知らせいたします。

本協定に基づき、SGNとSustechは地域の環境・社会・経済の自立的发展と脱炭素社会ならびに地域循環共生圏の実現に寄与してまいります。

特定非営利活動法人 四国グローバルネットワーク × SUSTECH

④ユース支援

宇和島にゆかりのある大学生で構成された「ユースたち」と（特非）S0-EN の連携による「宇和島エシカルプロジェクト」の実施に向けての、コーディネート支援を行った。



Ⅲ-7. 講師派遣および持続可能な開発のための教育(ESD) 普及啓発

2024年4月～2025年3月の期間中、95回の講演・講師等を実施し、のべ5,766名に対しESDを伝える機会を得た。その内容は以下のとおり。

No.	月	日	曜日	名称	内容	参加者・対象	対象人数	担当 (SGN)	事業名
1	4	-		多文化共生ラウンドテーブル	ネットワーク会議 (4/8・9・22・25・29)	MIC・YUI・にほんご町内会・Community Life	—	竹内	SGN
2	4	23	火	松山市立清水小学校	ESD打合せ	教員	1	竹内	MIC-ESD
3	4	27	土	多文化共生ネットワーク会議	ネットワーク会議	MIC・YUI・にほんご町内会・Community Life	—	竹内	SGN
4	5	-		多文化共生ラウンドテーブル	ネットワーク会議 (5/1・7・8・9・10・15・16・21)	MIC・YUI・にほんご町内会・Community Life	—	竹内	SGN
5	5	15	水	愛媛大学附属高等学校	令和6年度グローバル・スタディーズⅠ講演	高校生、教員	22	竹内	SGN
6	5	21	火	松山市立姫山小学校	ESD打合せ	教員	2	竹内	MIC-ESD
7	5	21	火	総合的な探究の時間の指導	探究学習の指導助言	教員、生徒(2年生)	34	宇賀神	四国ESDC
8	5	22	水	新居浜市SDGs推進プラットフォーム幹事会	第4回幹事会	委員	6	竹内	SGN
9	5	23	木	松山市立宮前小学校	平和の語り部	6年生	100	竹内	平和の語り部
10	5	28	火	多文化共生ラウンドテーブル	ネットワーク会議	MIC・YUI・にほんご町内会・Community Life	—	竹内	SGN
11	5	29	水	松山市立姫山小学校	「平和について考えよう」～世界の現状を知ろう～平和の色のイメージ、平和の言葉の意味を学び、モザンビークの平和構築活動を紹介。	6年生	84	竹内・石井	MIC-ESD
12	6	4	火	東雲公園ESD	芋の苗植え、だんごむし・サツマイモクイズ	2年生	64	竹内・黒河・原田・森田	SGN
13	6	-		多文化共生ラウンドテーブル	ネットワーク会議 (6/5・14)	MIC・YUI・にほんご町内会・Community Life	—	竹内	SGN
14	6	5	水	松山市立北久米小学校	平和の語り部	6年生	95	竹内	平和の語り部
15	6	6	木	松山市立たちばな小学校	ESD打合せ	教員	1	竹内	MIC-ESD
16	6	11	火	香川県立善通寺第一高等学校	探究学習の指導助言	教員、生徒(2年生)	34	宇賀神	四国ESDC
17	6	14	金	松山市立荏原小学校	ESD打合せ	校長	1	竹内	MIC-ESD
18	6	16	日	多文化共生ラウンドテーブル	ネットワーク会議	MIC・YUI・にほんご町内会・Community Life	—	竹内	SGN
19	6	21	金	香川大学講義「身の回りの環境問題B」	SDGs、ESD講義	学生	230	宇賀神	四国ESDC
20	6	24	月	新居浜市SDGs推進プラットフォーム全体会・分科会	セミナー・プレゼン・名刺交換会	各委員・分科会員	63	竹内	SGN
21	6	24	月	高知県SDGs推進アドバイザー	高知県造船産業審議会SDGs研修	企業審議会関係者	14	常川	四国EPO
22	6	25	火	新玉っ子を育てる会	第1回新玉っ子を育てる会	各委員・教職員	42	竹内	SGN
23	6	25	火	松山市立新玉小学校	ESD打合せ	教員	1	竹内	MIC-ESD
24	7	-		多文化共生ラウンドテーブル	ネットワーク会議 (7/1・11・27・29)	MIC・YUI・にほんご町内会・Community Life	—	竹内	SGN
25	7	2	火	徳島大学総合科学部	国際協力論での講義	1、2回生	60	菅、竹内	NGO相談員

No.	月	日	曜日	名称	内容	参加者・対象	対象人数	担当者 (SGN)	事業名
26	7	5	金	香川大学講義「身の回りの環境問題」	SDGs、ESD講義	学生	230	常川	四国EPO
27	7	11	木	松山市立高浜小学校	ESD打合せ	教員	1	竹内	MIC-ESD
28	7	11	木	松山市立新玉小学校	ESD打合せ	教員	1	竹内	MIC-ESD
29	7	12	金	松山学院高等学校	国際理解とSDGs	1～3年生	882	竹内	NGO相談員
30	7	16	火	松山市立荏原小学校	世界を学ぼう！～アフリカ・モザンビークのシャベラさんから学ぶ～小学生が立ち上げた松山のNGO「Bridge of friendship」の活動紹介とモザンビークについて紹介。	6年生	45	竹内	MIC-ESD
31	7	16	火	松山市立たちばな小学校	世界と出会う！パリ五輪～パラリンピック・アスリートの1日～英語でイラーリオ氏との直接交流を通じて、世界とのつながりを体験する。	6年生	82	竹内	MIC-ESD
32	7	17	水	松山市立姫山小学校	「平和について考えよう」～世界の現状を知ろう～イラーリオ氏との交流、小学生が立ち上げた松山のNGO「Bridge of friendship」の活動紹介。	6年生	84	竹内	MIC-ESD
33	7	17	水	松山市立清水小学校	世界とのつながりと 平和について考えよう イラーリオ氏との交流、小学生が立ち上げた松山のNGO「Bridge of friendship」の活動紹介。	6年生	69	竹内	MIC-ESD
34	7	17	水	松山市立松山盲学校	パラスポーツ交流	学生・教員	58	竹内	MIC-ESD
35	7	18	木	松山市立高浜小学校	つながりひろがる学びの創造 ユネスコスクールで目指すSDGsイラーリオ氏との交流、小学生が立ち上げた松山のNGO「Bridge of friendship」の活動紹介。	5年生46 6年生41	87	竹内	MIC-ESD
36	7	18	木	松山市立新玉小学校	世界の暮らしと私たちの暮らしイラーリオ氏との交流、小学生が立ち上げた松山のNGO「Bridge of friendship」の活動紹介。	6年生	89	竹内	MIC-ESD
37	7	19	金	愛媛大学附属高等学校×松山北高校	愛附×北高 モザンビーク交流会	モザンビーク班員	55	竹内・イラーリオ・山本エリーザ・井伊・福田(松山大)	SGN
38	7	19	金	松山市立荏原小学校	世界を学ぼう！～アフリカ・モザンビークのシャベラさんから学ぶ～イラーリオ氏とのスポーツ交流、全校生徒へのメッセージ。	6年生	45	竹内(木村・イラーリオ)	MIC-ESD
39	7	23	火	聖カタリナ大学	体づくり運動 特別講義「アフリカ・モザンビークの元パラリンピック選手から学ぶ」	大学生	25	竹内・イラーリオ	SGN
40	8	4	日	MIC-ESDコーディネーター研修	MIC-ESDコーディネーター研修	国際協力等活動経験がある・小中学校の教育サポートに興味がある・NGO/NPO関係者	20	竹内	MIC-ESD
41	8	-		多文化共生ラウンドテーブル	ネットワーク会議(8/4・16・21・28)	MIC・YUI・にほんご町内会・Community Life	—	竹内	SGN
42	8	8	木	愛媛大学教育学部/大学院地域レジリエンス学環	ユネスコ活動費補助金(SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業)第1回外部評価委員会	委員会	—	竹内	SGN
43	8	-		大学コンソーシアムえひめインターンシップ	インターンシップ研修受入(8/13～29)	松山大学経営学部2年生	1	竹内・常川	SGN
44	8	18	日	HLAB EHIME-DACARBO 2024サマースクール	フリーインタラクション	大学生	66	竹内	SGN
45	8	20	火	松山市立雄新中学校	11/26の打ち合わせ、フェアトレードとSDGs	教員	1	竹内	MIC-ESD
46	8	22	木	愛媛大学社会教育主事講習	令和6年度社会教育主事講習 NPOの経営戦略-ESD推進の取組	社会教育主事	32	竹内	SGN
47	9	2	水	松山市自転車等駐車対策協議会	令和6年度第1回	協議会	—	常川	SGN
48	9	4	水	インタビューシップ	愛媛大学生による経営者ヒアリング	2回生	1	竹内	SGN
49	9	-		多文化共生ラウンドテーブル	ネットワーク会議(9/5・15・17)	MIC・YUI・にほんご町内会・Community Life	—	竹内	SGN
50	9	17	火	香川県立善通寺第一高等学校	探究学習の指導助言	教員、生徒(2年生)	34	宇賀神	四国ESDC

No.	月	日	曜日	名称	内容	参加者・対象	対象人数	担当者 (SGN)	事業名
51	9	18	水	香川県青少年赤十字指導者研修会	SDGs研修	教員、日赤関係者	42	宇賀神	四国ESDC
52	9	20	金	香川県立高松高等学校	日本の国際協力の現状や地元国際NGOの取組について	教員、生徒（2年生）	295	竹内	NGO相談員
53	9	20	金	香川県立高松高等学校	ESDセンター紹介	教員、生徒（2年生）	—	宇賀神	四国ESDC
54	9	26	木	新居浜市SDGs推進プラットフォーム	第5回新居浜市SDGs推進PF幹事会	事務局5名、委員7名	12	竹内	SGN
55	10	14	月	かがわ国際フェスタ実行委員会	かがわ国際フェスタ2024	一般市民	22	竹内	NGO相談員
56	10	15	火	松山市立味生第二小学校	フィリピンの生活やCommunity Lifeの活動の紹介	5年生	103	松本	MIC-ESD
57	10	19	土	松山市立新玉小学校	人権・同和教育参観日「オリンピック・パラリンピックと人権～モザンビークとのつながりから考えよう～」	全校生徒	550	竹内	SGN
58	10	22	火	香川県立善通寺第一高等学校	探究学習の指導助言	教員、生徒（2年生）	34	宇賀神	四国ESDC
59	10	26	土	地域シビックプライド人材育成多文化共生イベント	多文化共生の第一歩を踏み出そう	在住外国人、市民	20	常川	SGN
60	11	5	火	聖カタリナ大学	多文化共生論での講義	社会福祉学科2回生	27	竹内	SGN
61	11	8	金	新居浜市SDGs推進プラットフォーム	全体会	会員他	—	竹内	SGN
62	11	14	火	松山市立味生第二小学校②	現地の子どもとのオンライン交流	5年生	103	松本	MIC-ESD
63	11	17	日	高知県国際交流協会	「国際ふれあい広場2024」NGO相談ブース	一般市民	15	菅	NGO相談員
64	11	19	火	香川県立善通寺第一高等学校	探究学習の指導助言	教員、生徒（2年生）	34	宇賀神	四国ESDC
65	11	20	水	さんかわ福祉館 人権講座	内子町における多文化共生社会づくり（外国人の人権）	地域住民・先生・町職員	22	竹内	SGN
66	11	26	火	松山市立雄新中学校	フェアトレードとSDGs、ワークショップ（原案：貿易ゲーム）	3年生	193	竹内・石井・木村	SGN
67	11	26	火	松山市立雄新中学校	フェアトレードとSDGs、ワークショップ（原案：貿易ゲーム）	3年生	—	竹内・石井・木村	MIC-ESD
68	11	27	水	徳島県中古自動車販売商工組合	組合で取り組むSDGs事業	組合員	10	常川	四国EPO
69	12	2	月	松山市立高浜小学校	身近な平和・世界の平和とは？マチュメ氏とユネスコ無形文化遺産の楽器・ティンビラで音楽交流。	5年生 6年生	87	竹内	MIC-ESD
70	12	2	月	四国大学	エコライフ論	大学生	30	常川	四国EPO
71	12	11	水	愛媛大学附属高等学校	産業社会と人間 企業講和「伊豫学」・トビタテ留学報告	1年生	123	竹内・菊間	SGN
72	12	12	木	松山市立味生第二小学校	現地の子どもとのオンライン交流	5年生	103	松本	MIC-ESD
73	12	21	土	まつやま国際交流センター	国際交流市民ボランティアガイダンス	一般市民	40	竹内	NGO相談員
74	1	21	火	松山市自転車等駐車対策協議会	令和6年度第2回	協議会	—	常川	SGN
75	1	23	木	愛媛県立松山北高等学校	インタビューシップ	2年生	8	竹内	SGN

No.	月	日	曜日	名称	内容	参加者・対象	対象人数	担当者 (SGN)	事業名
76	1	27	月	松山市立新玉小学校	ユネスコスクールデー：絵本『アフリカの音』紹介、モザンビークってどんな国？ケンボ氏・協力隊員と交流。カプアナ布試着体験など。	1年生	70	竹内・白波瀬・木村	MIC-ESD
77	1	27	月	松山市立新玉小学校	ユネスコスクールデー：絵本『水をくむプリンセス』紹介、モザンビークの食に関するクイズ、ケンボ氏・協力隊員との交流、水汲み体験など。	2年生	78	竹内・木村	MIC-ESD
78	1	27	月	松山市立新玉小学校	ユネスコスクールデー：絵本『ボリぶくろ1まいすてた』紹介、ケンボ氏・協力隊員との交流、エコブリック体験など。	3年生	100	竹内・内藤	MIC-ESD
79	1	27	月	松山市立新玉小学校	ユネスコスクールデー：絵本『その子』紹介、モザンビークの現状と働く人たちの紹介、ケンボ氏・協力隊員と交流、質疑応答。	4年生	82	竹内・柴田	MIC-ESD
80	1	28	火	松山市立新玉小学校	ユネスコスクールデー：モザンビークの昔と今の様子紹介、協力隊員と交流、モザンビークのこれからに関するグループワークなど。	5年生	90	竹内・緒方	MIC-ESD
81	1	28	火	松山市立新玉小学校	ユネスコスクールデー：モザンビークの現状と新玉小学校とのつながり、自分たちができることについて協力隊員と意見交換。	6年生	89	竹内・土師	MIC-ESD
82	1	28	火	香川県立善通寺第一高等学校	探究学習の指導助言	教員、生徒（2年生）	34	宇賀神	四国ESDC
83	2	4	火	愛光学園	フェアトレード、ジェンダー、海外支援活動「ESDと人権を守る活動」	高校1年生	240	竹内	SGN
84	2	5	水	NGO研究会	地域におけるNGOと企業のパートナーシップ	CSOネットワーク	2	竹内	SGN
85	2	5	水	香川県立善通寺第一高等学校	探究学習の指導助言	教員、生徒（2年生）	34	宇賀神	四国ESDC
86	2	11	火	愛媛大学教育学部/大学院地域レジリエンス学環	ユネスコ活動費補助金(SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業)第2回外部評価委員会	委員会	—	竹内	SGN
87	2	14	金	愛媛大学地域協働支援部地域協働課地域創生イノバーター育成プログラム（東予）	令和6年度しまなみ未来社会人材育成プラットフォームアイデアミーティングin広島大学	パネル討議	10	常川	SGN
88	2	16	日	高知大学次世代地域創造センター	第3回「地域×国際」セミナー「まぜこじやKOCHI～土佐と世界をいっしょにちもちきち」での「国際協力NGOの地方誘致と地域活性化」	一般市民、学生	10	竹内	NGO相談員
89	2	19	水	新居浜市立別子中学校	国際協力の現状とユースの活動事例紹介	3年生、教員	10	竹内	NGO相談員
90	2	25	火	愛媛・モザンビーク国際交流事業	愛媛・モザンビーク サステナブルな未来に向けてパネリスト	一般市民	96	竹内	SGN
91	2	27	木	伊予市立翠小学校	総合学習「めぐりめぐる翠の環境」	5、6年生	10	竹内	SGN
92	3	2	日	多文化共生型の減災社会づくり実践研修	香川県丸亀市ワークショップ	高校生、在住外国人	43	竹内・常川・香西	SGN
93	3	13	木	愛媛県立北条高等学校	「公民×国際協力NGO活動」	2年生	51	竹内	NGO相談員
94	3	19	水	松山市立高浜小学校	国際協力活動へのユースの参加について考える	6年生	41	竹内	NGO相談員
95	3	19	水	松山市立高浜小学校	身近な平和・世界の平和とは？JICAエッセイコンテスト受賞作文紹介、『幸せなら手をたたこう』のポルトガル語バージョン練習・イラーリオ氏、マチュメ氏へのメッセージ動画づくり。	6年生	41	飯田・石井	MIC-ESD

合計 5,766

※上記以外でも、四国4県の委員やイベント展示等、多数参画した。

IV. 管理運営等

1. 組織運営

(1) 事務局運営

本部・愛媛県松山市および香川県、徳島県、高知県の四国 EP0 事業実施のため、常勤および非常勤の人材を新規ならびに継続雇用し事務局の体制を整えた。

(2) 役員体制

2024 年度は以下の役員体制とし、役員間のコミュニケーションについては、理事メールや WEB 会議を活用し、理事候補を含めた意見交換を図り、理事会は、第 1 回 5 月 25 日、第 2 回 8 月 26 日、第 3 回 10 月 17 日、第 4 回 1 月 25 日の日程で、年 4 回開催した。

役職名	氏 名	所 属 他
代表理事	竹 内 よし子	四国グローバルネットワーク代表理事
理 事・ 共同代表 理 事	常 川 真由美	四国グローバルネットワーク常任理事(四国 EP0 所長)
	亀 山 公実子	四国グローバルネットワーク常任理事(元四国 EP0 事務局長)
	//	上 田 稔
//	小 松 柊 成	特定非営利活動法人にいはまグローバルネットワーク代表理事
//	森 源二郎	四国糧油株式会社代表取締役
//	笠 井 誉 子	特定非営利活動法人 GWEI 理事長
//	門 田 啓 吾	株式会社ソニックガーデン
監 事	鈴 木 靖 彦	J A えひめ中央
顧 問	薦 田 伸 夫	弁護士
//	堀 田 学	社会保険労務士

2. 決算報告

(1) 活動計算書

活動計算書			
2024年4月1日～2025年3月31日			
特定非営利活動法人 四国グローバルネットワーク		(単位：円)	
科目		金額	
Ⅰ 経常収益			
1. 受取会費			
正会員会費	320,000		
協力会員会費	54,000		
賛助会員会費	40,000	414,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	615,743		
ボランティア受入評価益	344,638	960,381	
3. 事業収益			
事業収益	2,666,057		
受託事業収益	46,043,877	48,709,934	
4. その他収益			
受取利息	6,120		
雑収益	16,836	22,956	
経常収益計			50,107,271
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給与	22,613,129		
ボランティア評価費用	344,638		
法定福利費	2,225,068		
人件費計		25,182,835	
(2) その他経費			
売上原価	129,221		
業務委託費	2,280,000		
諸謝金	2,695,760		
外注費	1,205,800		
印刷製本費	1,115,134		
会議費	30,905		
旅費交通費	3,671,394		
通信運搬費	1,337,615		
消耗品費	2,368,167		
修繕費	344,550		
水道光熱費	225,885		
地代家賃	35,669		
賃借料	878,772		
減価償却費	467,323		
保険料	152,885		
広告宣伝費	1,500		
諸会費	216,375		
新聞図書費	306,425		
租税公課	2,248,300		
支払手数料	73,715		
支払寄付金	30,000		
支払利息	102,154		
その他経費計		19,917,549	
事業費計			45,100,384

活動計算書			
2024年4月1日～2025年3月31日			
特定非営利活動法人 四国グローバルネットワーク		(単位：円)	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給与	68,812		
人件費計	68,812		
(2) その他経費			
印刷製本費	16,122		
通信運搬費	109,338		
接待交際費	15,000		
消耗品費	100,002		
修繕費	119,000		
水道光熱費	52,946		
賃借料	4,290		
減価償却費	37,924		
保険料	26,844		
諸会費	19,475		
租税公課	45,488		
支払手数料	4,510		
その他経費計	550,939		
管理費計		619,751	
経常費用計			45,720,135
当期経常増加額			4,387,136
Ⅲ. 経常外収益			0
Ⅳ. 経常外費用			
修繕引当金繰入額		600,000	
経常外費用計			600,000
税引前当期正味財産増加額			3,787,136
法人税、住民税及び事業税			798,000
当期正味財産増加額			2,989,136
前期繰越正味財産額			20,737,283
次期繰越正味財産額			23,726,419

(2) 財産目録

財産目録
2025年3月31日

特定非営利活動法人 四国グローバルネットワーク

(単位：円)

科目	金額			
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金		888,597		
普通預金				
伊予銀行/緑台支店①	856,431			
伊予銀行/緑台支店②	16,245			
愛媛銀行/道後支店①	732,798			
愛媛銀行/道後支店②	117,968			
愛媛信用金庫/本店営業部①	1,481,411			
愛媛信用金庫/本店営業部②	592,929			
みずほ銀行/松山支店	86,549			
百十四銀行/松山支店	115,325			
四国労働金庫/松山支店	1,376,178			
ゆうちょ銀行/六一八支店	81,240			
ゆうちょ銀行/一六九支店①	389,779			
ゆうちょ銀行/一六九支店②	17,651	5,864,504		
未収金				
環境省中国四国地方環境事務所	13,210,999			
外務省	727,578			
愛媛県	726,165			
(公財)松山国際交流協会	224,100			
国際協力機構四国センター	140,490			
(株)JATS	32,137			
愛媛大学附属高校	10,000	15,071,469		
販売用商品		379,986		
前払費用		73,549		
流動資産計			22,278,105	
2. 固定資産				
土地		8,400,000		
建物				
事務所及びカフェ	6			
モザンビーク公民館	4,820,655	4,820,661		
建物付属設備		189,359		
構築物		1,009,310		
工具器具備品				
事務所事務機器等	5			
カメラ	1			
パソコン	170,231	170,237		
固定資産計			14,589,567	
資産合計				36,867,672
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払法人税等		798,000		
未払消費税等		1,051,800		
未払金				
職員給料	2,949,176			
社会保険料	212,828			
事務所諸経費	918,765	4,080,769		
短期借入金				
愛媛銀行/道後支店		4,000,000		
前受金		400,000		
預り金				
社会保険料	243,003			
源泉所得税	197,442			
住民税	44,900	485,345		
流動負債計			10,815,914	
2. 固定負債				
長期借入金				
愛媛銀行/道後支店		1,125,000		
修繕引当金		1,200,339		
固定負債計			2,325,339	
負債合計				13,141,253
正味財産				23,726,419

(3) 貸借対照表

貸借対照表
2025年3月31日

特定非営利活動法人 四国グローバルネットワーク

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	888,597		
普通預金	5,864,504		
未収金	15,071,469		
販売用商品	379,986		
前払費用	73,549		
流動資産計		22,278,105	
2. 固定資産			
土地	8,400,000		
建物	4,820,661		
建物付属設備	189,359		
構築物	1,009,310		
工具器具備品	170,237		
固定資産計		14,589,567	
資産合計			36,867,672
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払法人税等	798,000		
未払消費税等	1,051,800		
未払金	4,080,769		
短期借入金	4,000,000		
前受金	400,000		
預り金	485,345		
流動負債計		10,815,914	
2. 固定負債			
長期借入金	1,125,000		
修繕引当金	1,200,339		
固定負債計		2,325,339	
負債合計			13,141,253
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		20,737,283	
当期正味財産増加額		2,989,136	
正味財産合計			23,726,419
負債及び正味財産合計			36,867,672

(4)計算書類の注記

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NP0法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NP0法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法を採用しています。

但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）及び

平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については、

定額法を採用しています。

無形固定資産 定額法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

修繕引当金

将来発生が見込まれる建物等の修繕費に備えるため、ひと月当たり5万円を繰り入れています。

(4) ボランティアによる役務の提供の会計処理

ボランティアによる役務の提供は、活動計算書に計上しています。また、計上額の算定方法は、

「(5) 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」に記載しています。

(5) 活動の原価の算定に当たって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

当期中、ボランティア延べ4名より360.5時間の無償による労務の提供がありました。

愛媛県の最低賃金時給956円に実働時間を乗じて算定した344,638円を計上しています。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理方法によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科目	国際協力 教育・ネットワーク事業	販売事業	環境事業	事業部門計	管理部門	合計
I. 経常収益						
1. 受取会費						
正会員会費				0	320,000	320,000
協力会員会費				0	54,000	54,000
賛助会員会費				0	40,000	40,000
2. 受取寄付金						
受取寄付金	615,743			615,743	0	615,743
ボランティア受入評価	344,638			344,638	0	344,638
3. 事業収益						
事業収益	2,350,817	315,240		2,666,057	0	2,666,057
受託事業収益	10,353,077		35,690,800	46,043,877	0	46,043,877
4. その他収益						
受取利息				0	6,120	6,120
雑収益		12,694		12,694	4,142	16,836
経常収益計	13,664,275	327,934	35,690,800	49,683,009	424,262	50,107,271
II. 経常費用						
(1) 人件費						
給与	4,674,565	295,326	17,643,238	22,613,129	68,812	22,681,941
ボランティア評価費用	344,638			344,638	0	344,638
法定福利費	268,804		1,956,264	2,225,068	0	2,225,068
人件費計	5,288,007	295,326	19,599,502	25,182,835	68,812	25,251,647
(2) その他経費						
売上原価		129,221		129,221	0	129,221
業務委託費	680,000		1,600,000	2,280,000	0	2,280,000
諸謝金	1,321,980	30,000	1,343,780	2,695,760	0	2,695,760
外注費	669,000		536,800	1,205,800	0	1,205,800
印刷製本費	600,856	4,190	510,088	1,115,134	16,122	1,131,256
会議費	17,604		13,301	30,905	0	30,905
旅費交通費	1,238,617	34,841	2,397,936	3,671,394	0	3,671,394
通信運搬費	488,000	5,561	844,054	1,337,615	109,338	1,446,953
接待交際費				0	15,000	15,000
消耗品費	565,514	8,194	1,794,459	2,368,167	100,002	2,468,169
修繕費	344,550			344,550	119,000	463,550
水道光熱費	114,074		111,811	225,885	52,946	278,831
地代家賃			35,669	35,669	0	35,669
賃借料	103,800		774,972	878,772	4,290	883,062
減価償却費	297,097		170,226	467,323	37,924	505,247
保険料	76,765		76,120	152,885	26,844	179,729
広告宣伝費			1,500	1,500	0	1,500
諸会費	76,000		140,375	216,375	19,475	235,850
新聞図書費	36,730		269,695	306,425	0	306,425
租税公課	579,371	5,834	1,663,095	2,248,300	45,488	2,293,788
支払手数料	33,020	1,260	39,435	73,715	4,510	78,225
支払寄付金	30,000			30,000	0	30,000
支払利息			102,154	102,154	0	102,154
その他経費計	7,272,978	219,101	12,425,470	19,917,549	550,939	20,468,488
経常費用計	12,560,985	514,427	32,024,972	45,100,384	619,751	45,720,135
当期経常増減額	1,103,290	△ 186,493	3,665,828	4,582,625	△ 195,489	4,387,136

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	増加	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
土地	8,400,000	0	0	8,400,000		8,400,000
建物	6,565,842	0	0	6,565,842	1,745,181	4,820,661
建物附属設備	869,203	0	0	869,203	679,844	189,359
構築物	1,495,269	0	0	1,495,269	485,959	1,009,310
工具器具備品	1,491,885	0	0	1,491,885	1,321,648	170,237
合計	18,822,199	0	0	18,822,199	4,232,632	14,589,567

4. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金				
愛媛銀行 道後支店	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
理事	1,000,000	3,000,000	4,000,000	0
長期借入金				
愛媛銀行 道後支店	1,840,000	0	715,000	1,125,000
愛媛信用金庫 本店営業部	350,000	0	350,000	0
合計	7,190,000	7,000,000	9,065,000	5,125,000

3. 監査報告

2025 年 5 月 5 日、16 日、20 日で実施した。

監査報告書

特定非営利活動法人
四国グローバルネットワーク
代表理事 竹内 よし子 様

2025 年 5 月 20 日

特定非営利活動法人
四国グローバルネットワーク

監事 鈴木 靖彦 

特定非営利活動法人四国グローバルネットワーク定款第 7 章第 49 条に基づき、
2024 年度事業報告書、活動計算書、貸借対照表および財産目録など決算に関する
書類を監査し、記帳簿の計算が正確であって記載に誤りがなく、適正に処理してい
ることを証明します。

以上

4. 広報活動

会員メルマガ、HP、Facebook、インスタグラムを活用し、イベント等の情報発信を行った。メディアの取材に応じ、新聞・テレビ・ラジオ等においてSGNの諸活動、他の市民活動の広報を積極的に行い、NPO/NGO活動への理解や参加促進を図った。以下は、メディア等への掲載一覧である。

	発行日	メディア媒体	内 容
1	4月3日	西日本放送ラジオ	さわやかラジオ～環境エコロジー！「インドネシアのごみ事情や日本との違い」（四国ESDセンター）
2	5月1日	西日本放送ラジオ	さわやかラジオ～環境エコロジー！「持続可能な地域づくり」（四国ESDセンター）
3	5月21日	毎日新聞四国版	元パラ選手招待へ力結集～モザンビークとの絆は東京大会の遺産～松山・中高生主体のNGO CF呼びかけ
4	5月21日	毎日新聞WEB版	愛媛とモザンビークの絆 ホスタウンの中高生、元パラ選手招くCF
5	6月1日	愛媛新聞	いま備える南海トラフ③地域でできることは 松山→交流の炊き出しで出番
6	6月5日	西日本放送ラジオ	さわやかラジオ～環境エコロジー！「ミサースコンテスト」（四国ESDセンター）
7	6月13日	愛媛新聞	ワイドえひめ「モザンビーク交流 支援求む」松山の中高生 NGO元パラ選手招待へCF（Bof）
8	7月3日	西日本放送ラジオ	さわやかラジオ～環境エコロジー！「資源の効率的な利用と廃棄物の削減」（四国ESDセンター）
9	7月22日	YAHOO! JAPAN ニュース 南海放送	失明の危機だったパラ選手に小学生が募金「とても感動した」つながるモザンビークと愛媛の絆（Bof）
10	7月24日	愛媛新聞	伝える戦禍と平和の尊さ 松山・資料展始まる 写真など200点
11	8月7日	西日本放送ラジオ	さわやかラジオ～環境エコロジー！「防災」（四国ESDセンター）
12	8月21日	愛媛新聞	まなぶ「強い意志持って生きて」東京パラ陸上 モザンビーク代表シャベラさん 松山盲学校訪問経験語る（Bof）
13	9月4日	西日本放送ラジオ	さわやかラジオ～環境エコロジー！「人の健康をチェックできるスマートネイル」（四国ESDセンター）
14	10月2日	西日本放送ラジオ	さわやかラジオ～環境エコロジー！「割りばしという身近なもののから環境について考える」（四国ESDセンター）
15	11月6日	西日本放送ラジオ	さわやかラジオ～環境エコロジー！「脱炭素とサーキュラーエコノミー」（四国ESDセンター）
16	12月4日	西日本放送ラジオ	さわやかラジオ～環境エコロジー！「四国の持続可能な観光推進ネットワークの活動」（四国ESDセンター）
17	12月27日	愛媛大学軽音楽部	第59回定期演奏会パンフレット
18	2025年 1月8日	西日本放送ラジオ	さわやかラジオ～環境エコロジー！「食品ロス」（四国ESDセンター）
19	1月22日	愛媛新聞	武器アート非戦の願い-伊予市と新居浜で展示-NPOモザンビーク支援回収銃で愛表現
20	1月27日	愛媛新聞	モザンビークもっと仲良く 万博を前に松山で行事 高校生ら交流報告・民族楽器皆で演奏
21	1月27日	日本教育新聞 四国版	「四国ESDフォーラム2025」開催周知（四国ESDセンター）
22	1月30日	KSB 瀬戸内海放送	LS四国ネットワーキング会-成長のカギは2つのC-「脱炭素や資源循環の技術を紹介 企業と自治体がイベントで交流 高松市」（LS四国）
23	2月5日	西日本放送ラジオ	さわやかラジオ～環境エコロジー！テーマ「多言語スピーチ大会や技能実習生への日本語支援」（四国ESDセンター）
24	2月16日	愛媛新聞	武器なき社会実現願う 宇和島 モザンビーク主題にパネル展
25	3月5日	西日本放送ラジオ	さわやかラジオ～環境エコロジー！テーマ「人材育成を軸とした国際協力」（四国ESDセンター）
26	3月12日	西日本放送ラジオ	RNC ラジオ特番「環境エコ i sm2025～地球に、Kagawa にやさしい人になるために～」事前収録（四国ESDセンター）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



国連広報センター

<https://www.unic.or.jp/>